

俳句 琴峯華俳句会 四月例会作品抄

俳句	作者	説明
荒れた手で貞綿のような蓬摘む 遍路坂花にいやされ登りけり	森 征子	
花の下遊びし笑顔目裏に つくしんほここにいるよと聞こえけり	安部 豊枝	
満開の桜不幸を消す如く 父の手をすべりて山女水に落つ	石田シヅカ	
並木道花の記憶に包まれて 落椿きのふの上に今日の花	土池 博子	
花の中富山の葉置きに来る	佐々木康子	
	八嶋 敏江	
	八嶋 昭男	

短歌 赤名短歌会 四月詠草

短歌	作者	説明
逢へる日の三回忌法要の天候を不可思議光如来におろかしくも問ふ 口ずさむ啄木のうたそのままに馬洗の岸邊も柳あおめる	岩佐 恒子	
例会に欠かさず季節の花飾りて春は万作に始まる歌会	吉川 嘆子	
夕暮れに白き日影現はれき福田の田んぼ黒く耕せり	澤田久美子	
さきさらぎの水と光のハーモニー見つつ聞きつつ川辺を歩む	中村三四二	
横たわるリクライニングに開けし口一匙づを優しく運ばる	星野 敦子	
花ならば真白きモクレン浅田真央引退の日の笑顔に涙す	澤田 勝登	
春風に洗濯物を干しながら飛行機音を小手かざし追う	本間 麗子	
雪すりに耐えに耐えにし水仙のあせり追いつき今咲きそろう	門所 詠子	
陛下に告ぐ座ざるる皇位退るより老いつ働くと知るしめす候	鳥田 勝信	
陽光の風におおられ舞ひ上がる花びらひらひら枝をはなれて		



すこやかに
やさらかに

4月届出分

4月届出分

4月届出分

4月届出分

4月届出分

4月届出分

今日の人権標語
「家族でつくる人権標語」優秀作品から

**ちがうこせい
みとめあえは
広がるせかい**

赤名小4年 かなやま 金山
家族名 金山 りか 莉果さん
地区 (84) 幸子さん
(86) 真次さん

今年もまた「牡丹」の咲く季節
がやつてきました。園内には甘い
香りがひろがります。

5月11日、初夏の日差しが照り
つける園内では、5月21日の「ぼ
たんまつりメイン日」に向けて、
草取り作業が行われていました。
ありがとうございます。今年も
色とりどりの大輪が、来場者の目
を楽しませます。

ガイドが語る森林セラピー

4月から地域おこし協力隊員として、森林セラピー事業に携わっています。原田俊行です。鳥取県智頭町でも森林セラピーに関わってきました。その視点から飯南町の素晴らしさをお伝えできればと思います。

智頭町の森林セラピーは、都会のサラリーマンの癒しの場所としても利用されているのが特徴。精神面の健康を含めた健康増進を進めています。一方、飯南町の森林セラピーは、宿泊施設「もりのす」での宿泊を伴う森林セラピーも可能で、来場者に癒しを提供しています。森林セラピーは、地域に根差す環境や文化を紹介し、都市農村交流につなげることも目的としています。誇りある地域文化をセラピーを通して、都市部の人々に発信してきた先人たちの努力を継承し、少しずつ発展させていった姿が、今の飯南町の森林セラピーの素晴らしさだと思います。

■お問い合わせ
産業振興課(地域おこし協力隊)
電話 76-2214



梅雨になると、「もりのす」の裏にある池の上、木の枝に白い泡状のかたまりが現れます。泡のなかには卵が生み落ちます。目が大きく、漫画で描かれなつたら、ぜひ、見に来てください。

答えは「モリアオガエル」。泡の中でおたまじやくしになり、ポトポト泡につけられています。さて、誰の卵でしょうか?

森林セラピー博学講座

森のたより



アツク&おもしろ 歴史ばなし



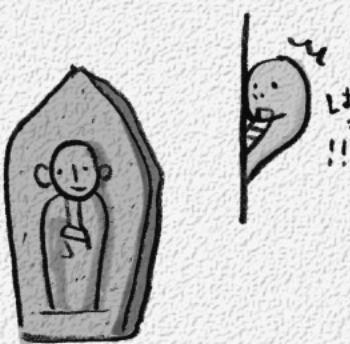
■お問い合わせ・情報提供
国道54号活性化アクションプラン推進協議会
電話76-2864

一昔前の飯南町では「嫁御さん見」「地蔵担ぎ」といって、4~5人の若者が「祝いの品」を持って、お嫁さんの顔をおがみに行く風習があった。ここまで聞いただけでは、田舎によくある好奇心旺盛なご近所さんのやることかと思うだろう。

しかし、そんな、単純なものではない。な、なんと! そのへんの道端にある、現役のお地蔵さんを勝手に取って届けに行くのだ。



「居座って離れない」ことを願った縁起のよい贈り物。持つて行くにも作法がある。ほっかおりなどで変装し、「狂気めいた声色を使う」のだ。若者はこの日だけは聖なる人。だから正体を知られてはならなかったのか?!



さて、祝いの品として納められたお地蔵さんの行方は…?
迷わず元の場所に戻されていることを願うばかりである。